



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞「SDGsパートナーシップ賞」受賞



SDGsの達成に向けたRCE第1回世界会議

岡山大学SDGs推進本部などの学内の推進体制を整備するとともに、地域の経済団体や地方公共団体、マスコミなどに働きかけました。さらに、国連大学サステイナビリティ高等研究所やユネスコ、岡山市と協力して「SDGsの達成に向けたRCE第一回世界会議」を開催するなど、国内外とのパートナーシップを構築しました。

これらの活動が評価され、2017年12月に日本政府より、国立大学で唯一の第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しています。2018年度には、SDGs推進のためのプラットフォーム「国際学都おかやま創生本部」をスタートさせて、地域・世界とのワンストップの窓口をつ

くりました。岡山大学は、これからもパートナーシップを合言葉に、岡山から瀬戸内地域に、そして世界に活動の輪を広げていきます。

**岡山大学SDGsの取り組み**

岡山大学は、11学部1プログラム8研究科を持つ総合大学ですが、現在すべての部局で、

SDGsへの取り組みを展開しています。その内容は、「SDGsの達成に向けた岡山大学の取組事例集」に取りまとめています。本学の取り組みを大きく分類すると、岡山大学SDGsモデルにあるように、環境、教育・健康、科学技術とイノベーション、社会の4つの領域になります。2018年度の取り組みは230事例ありますので、



OKAYAMA UNIVERSITY

サステイナビリティとウェルビーイングを追究し、岡山から世界に、新たな価値を創造し続けます

響き合うパートナーシップ

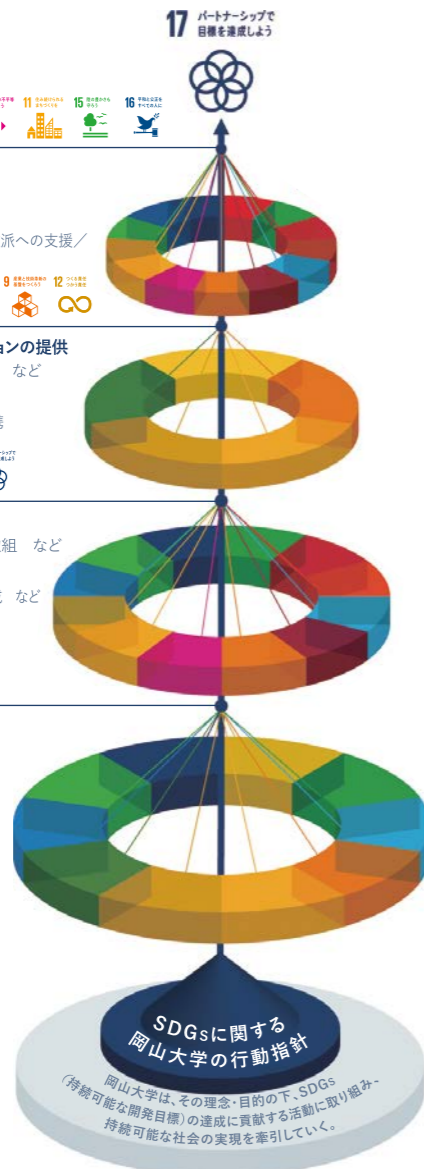
岡山大学では、榎野学長のリーダーシップの下、全学を挙げてSDGsの達成に向けて取り組んでいます。本学の目的は、「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」であり、SDGsが提唱される以前から、地域の多様なステークホルダーと共に、持続可能な開発のための教育(ESD)を推進してきました。

2005年には、岡山市を中心とする地域が、世界初のRCE(国連大学が認定するESDに関する地域拠点)に認定され、2007年には岡山大学が、アジアで初めてのユネスコチャエア(ESDプログラム)の認定を受け、活発にESD活動を展開してきました。2014年には、「ESDに関するユネスコ世界会議」が岡山で開催され、RCE岡山は、2016年にユネスコ日本ESD賞を、さらに2017年には、岡山市がユネスコ学習都市賞を受賞しています。

榎野学長が就任した2017年度には、SDGsに関する岡山大学の行動指針を策定して、

岡山大学SDGsモビール

- 17 パートナーシップで目標を達成しよう
- 4 社会**
    - ・まちづくりへの支援  
都市づくり/学生参加のまちづくり/防災
    - ・共生社会の実現  
ダイバーシティを支援する環境づくり/性的少数派への支援/貧困をなくそう など
  - 3 科学技術とイノベーション**
    - ・エネルギー確保のための科学とソリューションの提供  
バイオマス/太陽電池/水素(低炭素社会) など
    - ・イノベーションの創出  
革新的技術/革新的材料開発/産学官連携
  - 2 教育・健康**
    - ・SDGsを実践する人材の育成  
ESD/地域課題への取組/世界課題への取組 など
    - ・医療と健康  
先進医療/健康づくりと疾病の克服/医療人材育成 など
  - 1 環境**
    - ・地球規模の環境変化への対応  
植物多様性/気候変動/海洋と水資源 など



岡山大学×SDGs HP  
詳しくはホームページで



# パートナーシップを合言葉に、 岡山大学をSDGsの国際拠点へ



SDGsの達成に向けた岡山大学の取組事例集

ホームページをご覧ください。環境については、1994年に国立大学初となる「環境」の名を冠した環境理工学部を設置し、環境学の教育研究を推進してきました。また2011年には、学都構想の下、まちづくり、人材育成、イノベーションを推進する岡山大学地域総合研究センター(AGORA)を設置して、さまざまな社会課題に取り組む実践型社会連携教育を、地域社会と連携して実現してきました。

岡山大学は、SDGsがブームであるかのように、個々の組織が「私たちはSDGs活動をやっている」と誇るだけで終わってしまったのではないかと考えています。社会課題を解決していくプロセスの中で、自らがどのように変わったのか、社会があるべき姿に近づいたのかを示していくことが大切だと思います。その

ために、目標を共有したさまざまなセクターとのパートナーシップを強化しながら、常に評価・改善に取り組みたいと思います。

## 「SDGs教育の10年」を提案

岡山大学では、教育学研究科のESD協働推進室を発展させて「持続可能な未来のための教育研究センター」を開設する予定です。このセンターでは、「SDGs達成に向けたESD教師教育国際拠点プロジェクト」を展開します。

このプロジェクトは、ターゲット4.7(2030年までに、すべての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得できるようにする)を達成するための教師教育のあり方を、世界規模で開発・検証し、推進するものです。先に紹介した「SDGsの達成に向けたRCE第一回世界会議」に続いて、2018年度には、「ESD教師教育アジア太平洋会議」を開催しました。現在、アジア太平洋地域16カ国の学校や地域などで、授業



岡山大学×SDGs入門

することになりました。「SDGsとは何か」、「岡山大学のこれまでの取り組み」について語りかけながら、新入生がそれぞれの学びを実践する「自分ごとSDGs」への手がかりを得てほしいと期待しています。

## SDGsを学ぶ国際拠点に

岡山大学では、学生が地域社会に出て、地域のさまざまな人との関わりを通して学ぶ実践型社会連携教育が、数多く展開されています。これらの地域のフィールドでは、SDGs達成への取り組みを学ぶことが可能です。日本人学生だけでなく、留学生も、積極的に継続して取り組んでいます。



インドネシア教育大学における生態系ピラミッドの授業

実践と検証に取り組んでいます。また本学では、ESDとGCED(グローバル・シチズンシップ教育)との連携を推進しながら、SDGs教育のモデルを学校、地域、企業などで開発・展開・検証中です。

2019年11月には、「ESD教師教育世界会議」を開催し、ESD教師教育の世界基準を作成します。

その成果を基に2020年には、ユネスコやユネスコアジア文化センター、各国の教育機関などと共に、「SDGs教育の10年」を提案する世界会議を開催し、2030年のターゲット4.7まで普及活動に取り組んできました。

また、オランダ・ライデン大学との日本語日本文化研修プログラムでも、真庭市でのバイオマス産業や、倉敷水島地区の滞在型環境学習など本学が培ったフィールドを活用してきました。

2018年12月には、横野学長が米国国務省・教育文化局を訪問して、本学の「地域を活用したSDGs学習」を報告したところ、2019年6月から、米国国務省「重要言語奨学金(CLS)プログラム」で、全米から選抜された26名の留学生を受け入れることになりました。CLSプログラムでは、ESD



留学生によるフィールド活動

みず。このようなロードマップの下、世界のモデルとなるSDGs教育を開発・推進し、岡山大学をハブとする「SDGs学びのまち岡山」を世界に発信していきます。

## 多様性の中で学ぶグローバル・ダイスカバリー・プログラム

岡山大学には、SDGs達成に深く関連するカリキュラムを提供している学士課程プログラムがあります。世界各地から集まった留学生・帰国生、日本国内の高校出身者など、多様な背景と経験を持つ学生たちが学ぶグローバル・ダイスカバリー・プログラムです。2017年10月にスタートした本プログラムには、現在日本を含め21カ国86人の学生が在籍しています。

専任教員が英語で提供する「ディスカバリー専修トラック」では、「持続可能性のための超域科学」、「社会イノベーションと起業」、「文化的多様性とコミュニティ」の科目群があります。多様性と既存の学問分野の



横野学長米国国務省訪問

教育を先導してきた岡山市の京山公民館の活動や、西川緑道公園のまちづくりなども学びます。

岡山大学は、このような取り組みを世界に発信して、SDGsに取り組む若手人材育成の国際拠点形成を目指します。

## UNIVERSITY INFORMATION

OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中1-1-1

URL: <https://www.okayama-u.ac.jp>